

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード	名称
	29	(1)一体感を生み出す市民と行政の協働のしくみ

(5)評価責任者職名	企画振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
------------	------

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	57	合併前の旧市町村区域にとらわれず、市が一体となっている
	57	①伊賀市としての一体感を生み出す			

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果					(17)指標の単位	(18)評価類型		
					H19 決算額	H20 予算額・補正 要求額	H21 要求見込額	人	人件費		(14)指標名	指標の数値		個別評価					
												(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(19) 必要性	(20) 有効性			(21) 達成度	(22) 効率性

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評価 修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			

継続	129	広報作成等業務	40300	広聴広報課	18,517	20,874	20,874	2.0	14,400	広報配布率	90	90%	I	4	3	3	3	A	現状維持
継続	130	行政情報番組制作放送事業	40300	広聴広報課	56,530	53,465	56,465	2.0	14,400	ケーブルテレビ加入比率	66	67%	I	4	3	3	4	A	現状維持
継続	134	ケーブルテレビ加入促進事業 (ケーブルテレビ維持管理費軽減事業)	40300	広聴広報課	8,754	8,368	8,190	0.5	3,600	軽減世帯率	5.8	5.3%	I	3	4	3	3	A	変更

					1G	b	コストを維持し、迅速で市民にわかりやすい情報提供に努める。	有料広告のPRを行い、民間業者の掲載を促進する。
					2G	b	コストを維持し、迅速で市民にわかりやすい情報提供に努める。	
有	有効性の4を2に修正し、総合評価のAをCにする。	本制度により基本施策の有効性は難しい。			3G	c	基本施策の目的が達成された。今後、福祉施策としての継続を検討する。	今後、デジタル化への移行にあわせ、補助制度の廃止も含め、制度全体の見直しを検討する。